

にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

会員だより

「開港100周年の小樽港」 ～北海道小樽港～

小樽港は、明治32年に外国貿易港に指定され来年で開港100周年を迎えますが、その間、海上輸送の拠点として北海道経済・産業の発展に寄与してきました。平成10年4月には、室蘭港に次いで2番目に外国貿易船入港3万隻を達成したところです。

背後には札幌を始めとする道央地区の大消費地を抱え、流通拠点港としての役割を果たしており、また、麦・バナナ・マトンなどの輸入食料の指定港であると共に穀物流通基地として重要な位置を占めています。

昭和56年には大型穀物サイロや新鋭の荷役機械を設置した近代的な勝納ふ頭が完成し、平成9年4月にはパナマックス級大型船舶がこのふ頭に接岸し飼料用穀物の輸入を行うなど有効に利用されています。

また、昭和45年からは小樽～舞鶴・敦賀、昭和49年には小樽～新潟間の大型フェリーが就航し日本海の物流拠点港として実績を上げています。

平成2年4月には、350隻(内50隻はビジター用)収容のマリーナがオープンし、海洋レジャー基地としてもにぎわっています。さらに平成3年から進めている小樽港中央地区再開発事業により整備された岸壁が本年度から一部供用を開始しており、21世紀に向けた近代的な魅力ある港づくりを推進しています。



写真-1「小樽港全景」



写真-2「勝納埠頭」



写真-3「小樽港マリーナ」

紹介

「江差町で地ビールが誕生」 ～北海道江差町～

このほど、北海道桧山支庁管内の江差町（本協議会会員）で地ビールが誕生しました。北海道の日本海側では小樽、函館に次いで3番目となります。地ビール醸造所「桧山麦酒工房」（江差町中歌）で6月25日にデビューしたもので、「かもめビール」と「追分ビール」の2種類があり、原材料、製法にこだわりぬいた個性的なビールに仕上がっているそうです。こちらにお越しの際には、ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか。場所は国道沿いで、江差町役場のすぐ近く。営業時間は11:00～20:00で無休。

お知らせ

小樽市でパネル展を開催中 ～北海道小樽港～

「海の旬間」関連行事として、北海道開発局小樽開発建設部が主催する「～くらしの元気は港から～'98みなとパネル展」が7月18日から9月6日までの間、小樽交通記念館で開催されています。パネル展では港湾や漁港と生活のつながりを広く一般市民に知っていただき、港湾や漁港事業の理解と関心を深めてもらうことを目的に、小樽港や石狩湾新港など、小樽開発建設部が整備を進めている日本海に面した8つの港を紹介しております。こちらにお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。

①開催日時

平成10年7月18日（土）～9月6日（日）
開場時間9:00～18:00（入館は17:30まで）

②開催場所

小樽交通記念館 中央展示館（小樽市手宮
1丁目3番6号） TEL(0134)33-2523

くらしの元気は
港
から
今年のテーマは
[元気なくらしと元気な港]
また、楽しい会場で
会おうね!
'98みなとパネル展
平成10年7月18日(土)～9月6日(日)
開場時間...9:00～18:00(入館は17:30まで)
小樽交通記念館
中央展示館エントランスホール
〒047-0041 小樽市手宮1丁目3番6号 TEL(0134)33-2523
小樽交通記念館へ入場される際に入館料が必要となります。

③主 催

北海道開発局小樽開発建設部

④後 援

石狩市、小樽市、岩内町、積丹町、寿都町、古平町、余市町、浜益村
(協 賛) 小樽交通記念館



編集後記

まずはじめに、北海道開発局が担当する本号の発行が、大変遅くなりましたこと
をお詫び申し上げます。今後は、早期発行に努めていきたいと考えております。
さて、いよいよ夏本番を迎え、本格的な”海のシーズン”が到来しました。そ
のスタートとも言うべき7月20日「海の日」には、全国各地で海や港に関連す
るイベントが開催され、日本海沿岸は多くの市民でにぎわったのではないでしょ
うか。今後も夏休み期間を中心に、各地でたくさんイベントが開催されること
と思います。このシーズンは一般の方々に海や港に対する理解、関心を高めても
らえる絶好の機会だと思いますので、日本海沿岸の地域全体がいっそう発展する
よう、本協議会会員が一丸となり、がんばっていきましょう。

編集

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

北海道開発局 港湾計画課 調査係

TEL 011-709-2311 (内線5617)

FAX 011-709-2147